



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット
2026年5月1日

高知県吾川郡いの町で「すららドリル」が2026年4月より拡大導入 町内の吾北中学校に加え、神谷中学校が利用開始

AIを活用したアダプティブな対話型 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）が提供する「すららドリル」が、2026年4月から神谷中学校に導入されました。同町では、昨年から活用している吾北中学校も含め2校での利用となります。

すららドリル



高知県吾川郡いの町は、「みんなが笑顔で 夢に向かって 学び合う いのの教育」を基本理念に掲げ、子どもたちが自ら学び、健やかに成長できる教育環境の実現に取り組んでいます。GIGAスクール構想のもと、ICT を効果的に活用することで、基礎・基本の定着とともに一人ひとりの個性を伸ばす「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を進めています。

「すららドリル」は、AIによる最適な問題提示とアニメーションによるわかりやすいレクチャー機能を組み合わせ、子どもたち一人ひとりの理解度や学習進度に応じた“個別最適な学び”を可能にする教材です。単にドリル演習を繰り返すのではなく、「わかった」「できた」と感じる成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や学びへの意欲を自然と育む設計がなされています。

また、「すららドリル」は、課題配信・採点・進捗管理など教員の日常業務の負担を軽減しながら、学習データを活用したきめ細かな指導を可能にします。これにより、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保し、授業の質のさらなる向上にも寄与します。

いの町では、2025年4月より吾北中学校において「すららドリル」を導入し、生徒一人ひとりの習熟度に合わせた学習の定着や教員の校務負担軽減に取り組んでまいりました。このたび、同校での ICT 活用の実績が評価され、神谷中学校への拡大導入が決定いたしました。

今回の導入にあたっては、学年にとらわれず個々の理解度に応じて学習を進められる「無学年方式」に加え、自動採点・分析機能により教員が学習状況をリアルタイムで把握し、よりきめ細かな指導に注力できる点が高く評価されました。

すららネットは今後も、「すららドリル」の提供を通じて、公立小中学校での個別最適な学びと教員の業務軽減を力強くサポートしてまいります。

■AI×アダプティブラーニング教材「すららドリル」

「すららドリル」は、公立小中学校向けの AI ドリル教材で、児童生徒一人ひとりの理解度に応じたアダプティブな学習を提供します。AI による「つまずき診断」や「出題難易度コントロール」により、国語・算数／数学・英語・理科・社会の 5 教科を、学年を越えて柔軟に学ぶことができます。教材はドリル、テスト、対話式レクチャーの 3 機能で構成され、「演習→確認→復習」のサイクルで無理なく学力の定着を図ります。また、テストの自動作問・採点、自動復習登録機能により、教員の負担も軽減します。

「すららドリル」は、多様な学習スタイルに応じた指導が可能で、児童生徒の主体的な学びと教員の指導の質向上を同時にサポートします。

■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 3,100 校以上の学校や学習塾で導入され、約 26 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>

<資料に関するお問合せ先>
株式会社すららネット 広報担当
e-mail : press@surala.jp
TEL : 03-5283-5158 FAX : 03-5283-5159